

# USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN アクセスポイント

# GW-AP11X

PLANEX COMMUNICATIONS INC.



# **USER'S MANUAL**

11Mbps 無線LAN アクセスポイント

**GW-AP11X**

# 本製品を安全にお使いいただくために

## ⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

### 分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



### 雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



### 正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



### 通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



### タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



### 電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



## 液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。  
万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



## 電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する  
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



## 設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



## ◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

# 使用前にお読み下さい

---

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

◎法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造および分解（アンテナ部分を含む）
- ・適合証明ラベルの剥離

1.本製品で使用する1～13チャンネルの周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。

- 使用周波数帯域 ……………2.4GHz
- 変調方式 ……………DS-SS方式
- 想定干渉距離 ……………40m以下
- 周波数変更の可否 ……………2400～2497.5GHzまでの帯域を使用し移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局で使用される帯域を回避可能

2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。

3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

# このマニュアルの構成

---

本マニュアルは以下のような構成になっています。

## ■ 必ずお読みください

.....

### 第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

## ■ ご使用方法

.....

### 第2章 インストール

本製品を設置する手順について説明します。

### 第3章 本製品を設定するための準備

本製品を設定するための、コンピュータの設定について説明します。

### 第4章 WEBブラウザを使用した本製品のセットアップ

本製品をWEBブラウザから設定する手順について説明します。

## ■ 付録

.....

### 付録A 設置環境への注意

設置する環境についての注意です。

### 付録B 仕様

本製品の仕様について説明します。

## ● マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

## ● 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# 目次

---

本製品を安全にお使いいただくために	2
<b>第1章 はじめに</b>	
1.概要	7
2.特長	8
3.梱包内容の確認	8
4.各部の名称	9
<b>第2章 インストール</b>	
1.設置場所について	13
2.設置	14
3.電源の接続	15
4.アクセスポイントとハブの接続	16
<b>第3章 本製品を設定するための準備</b>	
1.コンピュータの設定	17
2.WEBブラウザからのアクセス	26
<b>第4章 WEBブラウザを使用した本製品のセットアップ</b>	
1.各項目	29
<b>付録A 設置環境への注意</b>	59
<b>付録B 仕様</b>	61
<b>ユーザー登録について</b>	68
<b>弊社へのお問い合わせ</b>	69
<b>質問表</b>	70
<b>保証規定</b>	72

# はじめに

## 1 概要

GW-AP11Xは、無線LANと既存のイーサネットネットワークを接続するためのワイヤレスアクセスポイントです。またEthernet Converterモードを使用することによって、LANポートを持ったクライアントをワイヤレスネットワークに接続するためのイーサネットアダプタとしても機能します。アクセスポイント間通信（Bridgeモード）やリピータ機能（Repeaterモード）にも対応しており、より自由度の高い無線LANを構築することが可能です。

IEEE802.11bに準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/ 2Mbps/1Mbpsに対応しています。ESSIDやWEP、MACアドレスフィルタリングなどの機能を使用することによって、より堅牢なセキュリティを保つことが可能です。

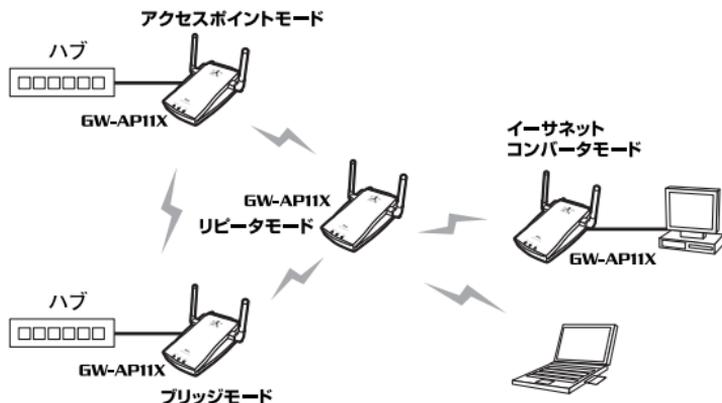


図1-1 ワイヤレスLAN構築図

## 2 特長

- IEEE802.11/802.11b 準拠
  - IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX 準拠
  - ノイズに強いDS-SS方式
  - 免許が不要な2.4GHz周波数帯を使用（14ch）
  - 11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
  - ESSIDおよびWEP機能、MACアドレスフィルタリングにより堅牢なセキュリティを実現
  - 最大55mまでの通信距離（屋内使用時、見通し距離）※
  - アクセスポイントのステータスが簡単に確認出来る3つのLEDを装備
  - Webブラウザによる簡単設定
  - ワイヤレスアクセスポイント間のリピーターとしても使用可能
  - アクセスポイント同士で通信可能なアクセスポイント間通信対応
  - 既存のイーサネットネットワークに接続して他のアクセスポイントにクライアントとして接続するイーサネットアダプタとして使用可能
- ※環境によって上記距離を満たせない場合があります。

## 3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- GW-AP11X Wireless LANアクセスポイント
- ACアダプタ
- このユーザズマニュアル

付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

## 4 各部の名称

1

はじめに

### ■上面

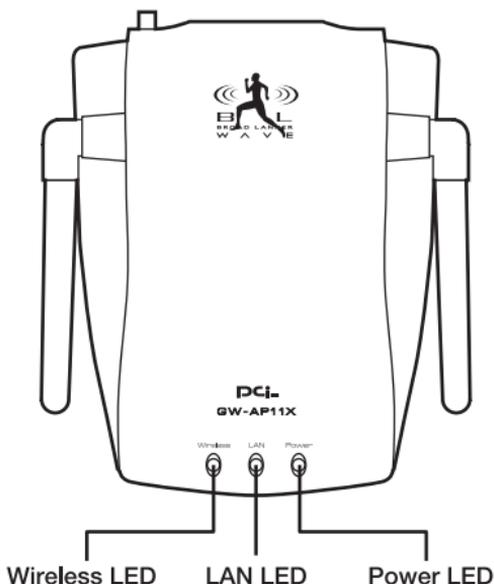


図1-2 GW-AP11X上面図

本製品上面にはアクセスポイントのステータスを表示する3つのLEDを備えています。

#### 「Wireless LED」

ワイヤレスポートのリンクが確立すると緑色に点灯します。ワイヤレスインターフェイスと通信中は点滅します。

#### 「LAN LED」

ポートのリンクが確立すると10Mbps接続時はオレンジに、100Mbps接続時は緑色に点灯します。LANポートと通信中は点滅します。

#### 「Power LED」

電源が供給されていると赤色に点灯します。

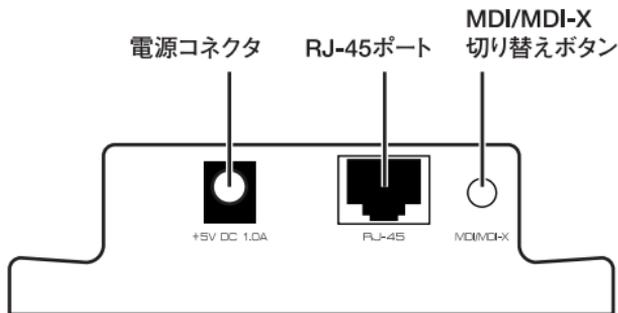


図1-3 GW-AP1111X背面図

**「電源コネクタ」**

ACアダプタを接続します。

**「RJ-45ポート」**

10BASE-T/100BASE-TX ツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。アップリンクポートとして使用します。

**「MDI/MDI-X切り替えボタン」**

RJ-45ポートのクロス、ストレートを切り替えるボタンです。

## ■底面

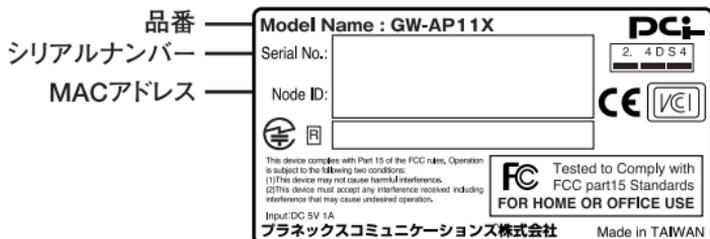


図1-4 GW-AP11X底面図

## 「RELOADボタン」

システムが正しく応答しなく場合や、機能停止状態になった時に本製品を工場出荷時の設定に戻すことができます。本製品底面のRELOADボタンを5秒以上押し続けて離してください。Wireless LEDが点滅し始めたら成功です。

## 「品番」

本製品の製品型番です。

## 「シリアルナンバー」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

## 「MACアドレス」

本製品のMACアドレス（物理アドレス）です。



# インストレーション

2

インストレーション

**こ** の章では本製品の設置方法及び接続方法について説明します。

## 1 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

- 湿気の多い場所に設置しない。
- チリやほこりの多い場所には設置しない。
- 直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しない。
- 内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空ける。

## 2 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使用してください。

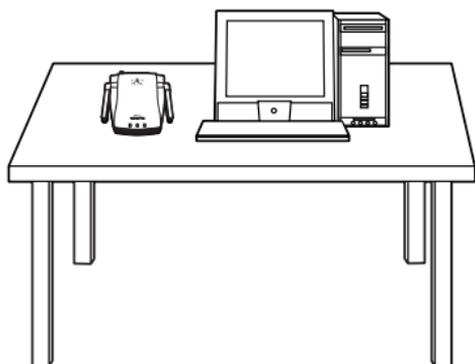


図2-1 設置

2

インストール  
レーション

## 3 電源の接続

1. 本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタを接続します。
2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続します。
3. 側面のWireless LEDが点灯することを確認してください。  
ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

2

イン  
スト  
レ  
ー  
シ  
ョ  
ン

## 4 アクセスポイントとハブの接続

### 2

### インストール レーション

ワイヤレスネットワークを既存の有線ネットワークに接続するためには本製品をハブまたはブロードバンドルータなどに接続する必要があります。

1. ストレート結線されたLANケーブルを用意してください。ケーブルの最大長は100mです。
2. 背面にあるMDI/MDI-X切り替えボタンを押してください。
3. LANケーブルの一端をハブの標準ポートに差し込みます。
4. LANケーブルの另一端をアクセスポイントのLANポートに接続します。接続先の機器が正しく動作していれば、本製品上面のLAN LEDが点灯します。

### 注意

ハブのUP-Linkポートに接続する場合はMDI/MDI-X切り替えボタンを押していない状態にしてください。また、コンピュータに直接接続される場合にもMDI/MDI-X切り替えボタンを押していない状態にしてください。

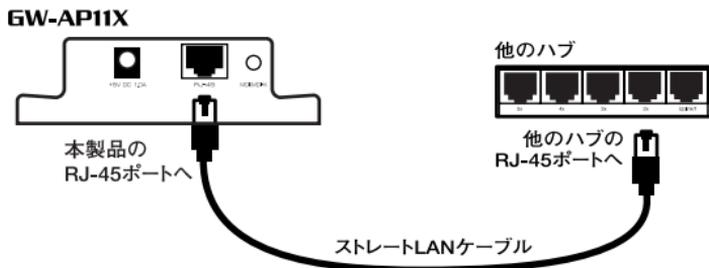


図2-2 ハブとの接続

## 本製品を設定するための準備

3

本製品を設定するための準備

**こ**の章ではアクセスポイントを設定するためのコンピュータの設定について説明します。本製品は設定をWEBブラウザ上から行います。本章の手順に従ってご使用のコンピュータのネットワークの設定を行ってください。

### 1 コンピュータの設定

ここでコンピュータごとの設定について説明します。ご使用のOSの説明を参照に設定してください。

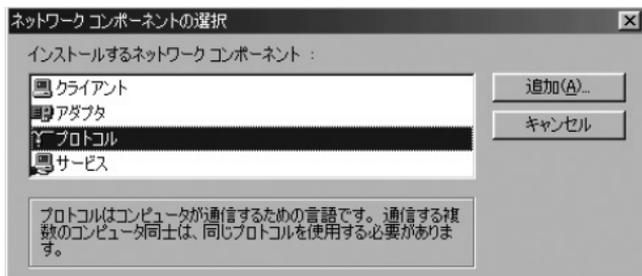
#### ■Windows 98/98SE/Me

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。



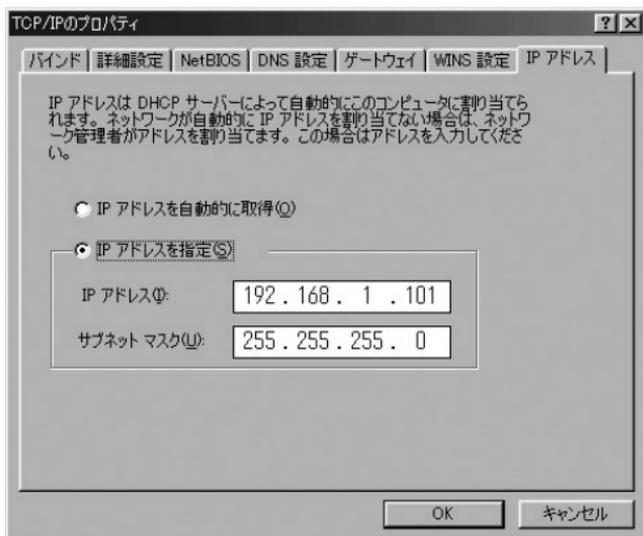
3. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。



5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスの指定」オプションを選択し、IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1～99、101～255の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力してください。[OK] ボタンをクリックしてから、コンピュータを再起動してください。



## ■Windows 2000/XP

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールを行ってください。
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。

### ・Windows 2000

「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」と選択してください。「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。

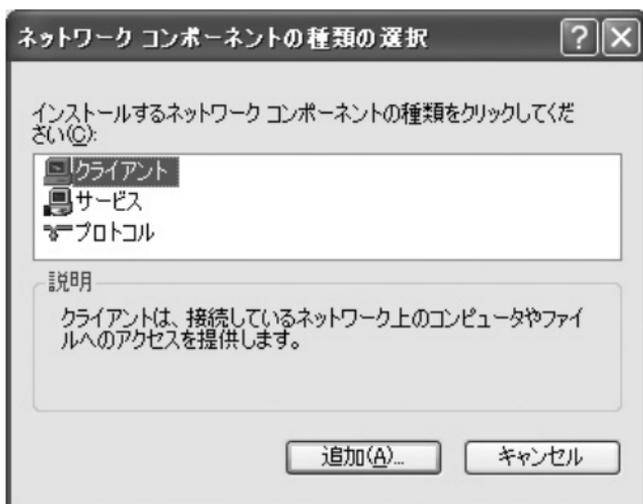


## ・Windows XP

「スタート」メニューから「ネットワーク接続」と選択してください。「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、「プロパティ」を選択します。「この接続は次の項目を使用します」の欄に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。



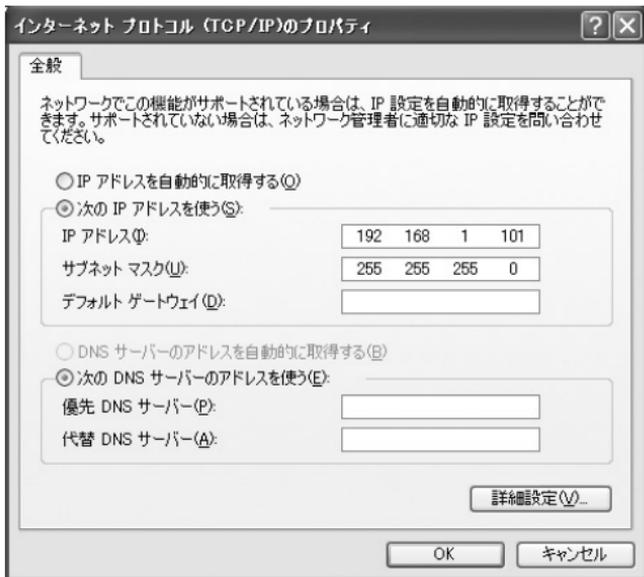
3. インストールされていない場合は「インストール」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。



5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されます。画面内の「次のIPアドレスを使う」オプションを選択し、IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1~99, 101~255の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力してください。[OK] ボタンをクリックしてください。



## ■その他のコンピュータまたはOS

ご利用のコンピュータまたはOSのマニュアル及びドキュメントを参照して、ネットワークプロトコルをTCP/IPに設定してください。IPアドレスを「192.168.1.x」(xは1～99, 101～255の任意の値)、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定してください。

### 注意

アクセスポイントは工場出荷時の設定で「192.168.1.100」に設定されています。コンピュータに割り当てるIPアドレスには「192.168.1.100」以外を割り当ててください。また、IPアドレスは他のネットワーク機器とも重ならないようにしてください。

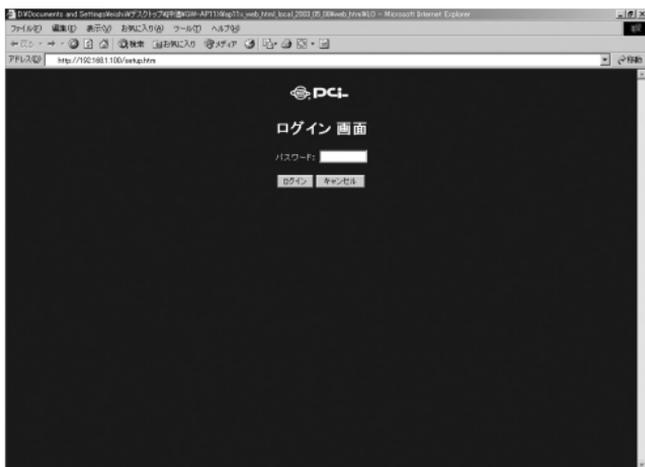
## 2 WEBブラウザからのアクセス

ここでは本製品の設定画面へのアクセス手順について説明します。

### 注意

本製品はInternet Explorer5.5以上、Netscape4.0以上に対応しています。

1. コンピュータが起動したら、Webブラウザを起動してください。
2. WebブラウザのURLを入力する欄（Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.100」を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログイン画面が表示されます。パスワードは空欄のまま「ログイン」ボタンをクリックしてください。



## 4. 本製品のWeb設定画面が表示されます。



### ⚠ 注意

Web設定画面が表示されない場合は以下の項目を確認してください。

- ・ コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作しているか確認してください。WindowsではデバイスマネージャでLANカードが正常に動作しているか確認してください。
- ・ コンピュータまたはLANカードのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。
- ・ コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPアドレスの設定を確認してください。
- ・ 使用しているWebブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示 (ツール)」→「インターネットオプション」→「接続」、Netscapeでは「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。

## 3

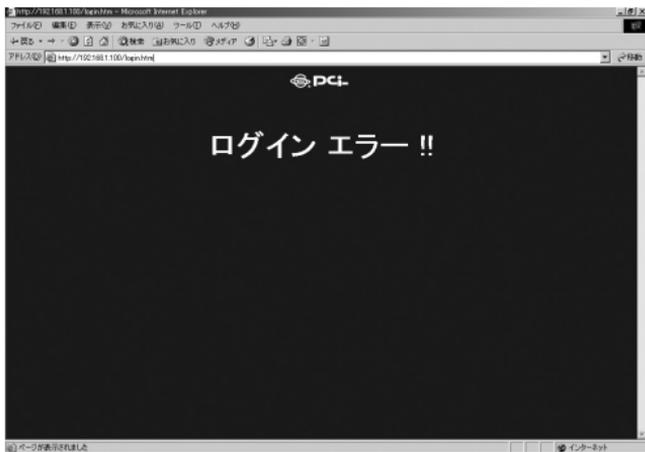
### 本製品を設定するための準備





## ⚠ 注意

パスワードが設定されている場合、誤ったパスワードを入力するとエラー画面が表示されます。パスワードを忘れてしまった場合は本製品底面のRELOADボタンを使用して工場出荷時の設定に戻してください。



## ●パスワード設定

ここでは本製品のパスワードを設定します。



# 4

## WEBブラウザを使用した本製品のセットアップ

**現在のパスワード:**

現在設定されているパスワードを入力します。デフォルト設定ではパスワードは設定されていません。

**新規パスワード:**

新しく設定するパスワードを入力します。

**確認のためパスワードの再入力:**

新しく設定するパスワードを再度入力します。設定したパスワードは忘れないようにしてください。

**アイドル・タイムアウト:**

タイムアウトまでの時間を設定します。タイムアウト後にWeb設定画面にアクセスするとログイン画面に戻ります。パスワードを設定している場合はパスワードを入力して再度ログインしてください。

設定が完了したら、[設定] ボタンを押してください。次回のログインから設定したパスワードが有効になります。

## ●リモート管理画面

本製品のリモート管理を設定します。



### リモート管理設定：

すべてのIP アドレスからWeb設定画面を使用して管理する場合はチェックボックスにチェックを入れてください。管理するIPアドレスを指定する場合は使用するIPアドレスを入力してください。

設定が完了したら、[設定] ボタンを押してください。

## ■LAN

画面左側の [LAN] ボタンをクリックすると「LAN設定」が表示されます。本製品のLANを設定します。



### アクセスポイント名:

アクセスポイントを識別する為に任意の名前を設定できます。複数のアクセスポイントをご利用の場合には個別の名前を設定する事を推奨します。デフォルトでは "GW-AP11X" に設定されています。

### IPアドレス設定:

DHCPサーバなどを用いてIPアドレスを自動取得する場合は「IPアドレスを自動取得する」を選択してください。IPアドレスを固定設定する場合は「IPアドレスを固定設定する」を選択してください。「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」が表示されます。

### IPアドレス:

IPアドレスを固定する場合にはここにIPアドレスを入力します。工場出荷時の設定では「192.168.1.100」に設定されています。

**サブネット:**

IPアドレスを固定する場合にはここにサブネットマスクを入力します。工場出荷時の設定では「255.255.255.0」に設定されています。

**ゲートウェイ:**

IPアドレスを固定する場合にはここにデフォルトゲートウェイを入力します。

設定が完了したら、[設定] ボタンを押してください。まだ設定をおこなう場合は設定したIPアドレスで第3章 2. Webブラウザからのアクセス」の手順に従ってWeb設定画面にアクセスしてください。

## ■無線

画面左側の「無線」ボタンをクリックすると「無線設定」「セキュリティ」「クライアント一覧」「詳細設定」が表示されます。本製品の ESSID、無線チャンネル、詳細設定からワイヤレスを設定します。



## ●無線設定



**チャンネル:**

アクセスポイントの使用する無線チャンネルを設定します。近くに別のアクセスポイントがある場合は、なるべく各アクセスポイントのチャンネルを離れた値に設定する事を推奨します。同じ電波領域内では4個以上のアクセスポイントがあると電波干渉の可能性が出てきます。

**ESSID:**

ESSIDを設定します。ESSIDはワイヤレスクライアントを特定のアクセスポイントに接続させたい場合に有効です。クライアントとアクセスポイントのESSIDを同じ値に設定する事でクライアントはそのアクセスポイントとのみ接続します。デフォルトでは「GW-AP11X」に設定されています。

**ESSIDを隠さない:**

このチェックボックスをチェックするとESSIDをビーコンに含めます。これにより本製品のESSIDを周囲のワイヤレスネットワークに公開します。

設定が完了したら、[設定] ボタンを押してください。

## ●セキュリティ

本製品のWired Equivalent Privacy (WEP) による暗号化設定をおこないます。WEPによる暗号化を使うことで、無線ネットワーク上のデータ通信を安全におこなうことができます。認証タイプと暗号化タイプを選択してください。WEPを使用する場合には、キーも入力してください。無線セキュリティ機能を有効にした場合は、クライアントが本製品に接続するには同じ暗号化機能に対応している必要があります。



### 認証タイプ:

WEPキーの認証アルゴリズムを設定します。認証アルゴリズムは接続する無線機器すべてで合わせる必要があります。

## 暗号化タイプ：

WEP を設定します。



### WEPキー長：

WEPキー長を64bitまたは128bitから選択します。128bitの方が強固なセキュリティ機能を持ちますが、代わりに64bitに比べてスループットが低下します。

### キー：

64bitのWEPキーを選択した場合には16進数(0~9,A~F,a~f)で10文字の任意の値を入力します。128bitのWEPキーを選択した場合には16進数(0~9,A~F,a~f)で26文字の任意の値を入力します。使用するWEPキーは接続するすべての機器で同じにする必要があります。

### デフォルトキー：

使用するWEPキーを設定します。WEPキーを設定した4つのキーから選択します。選択されたWEPキーが実際に使用されます。

設定が完了したら、[適用] ボタンを押してください。

## ●クライアント一覧

本製品と通信を行っているクライアントのMACアドレスと接続速度が表示されます。現在の情報を表示するには [更新] ボタンをおしてください。



## ●詳細設定

本製品の動作モードや無線の詳細を設定します。



## 動作モード:

本製品の動作モードを選択します。本製品には4つの動作モードがあります。

### 1. Access Point

このモードではIEEE 802.11で定義されているワイヤレスアクセスポイントとして機能します。本製品の工場出荷時設定です。

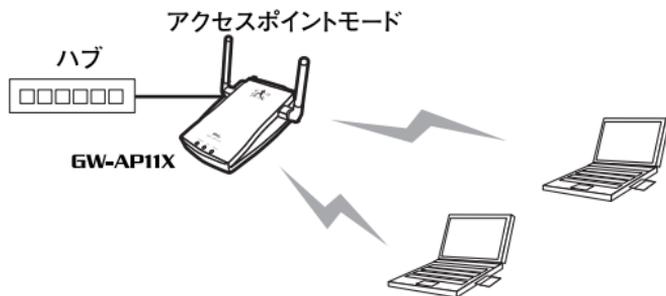


図4-1 AP動作モード

### 2. Repeater

このモードはワイヤレスLAN間のリピータとして機能します。

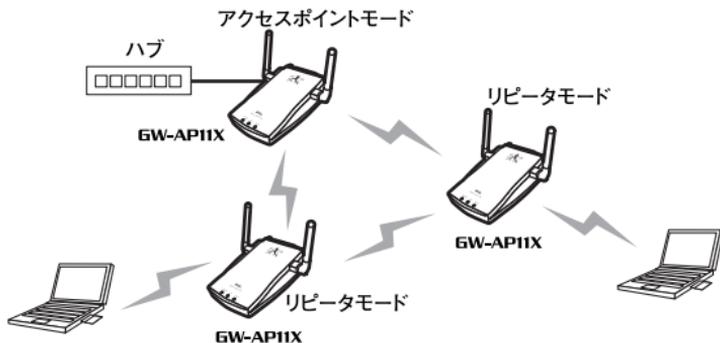


図4-2 RE動作モード

### 3. Work group Bridge

このモードはアクセスポイント間通信に対応しており、複数の本製品にそれぞれ接続された有線LAN 同士を無線経由で接続する事ができます。

#### ⚠ 注意

このモードを使用するためには、マスターとなるアクセスポイントが1台必要になります。Work group Bridgeモードに設定した本製品のESSID、チャンネルをアクセスポイントと同様の設定にしてください。

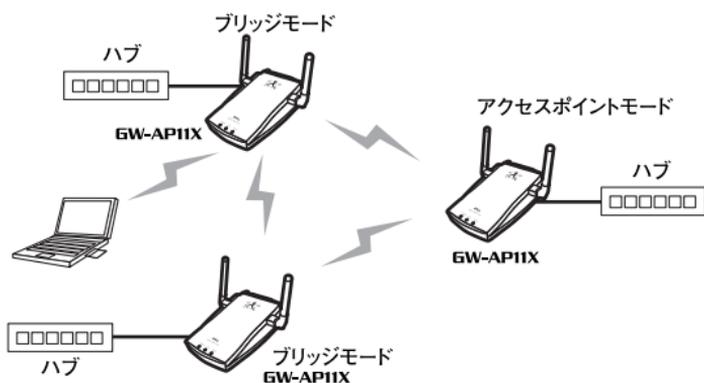


図4-3.WB動作モード

## 4. Ethernet Converter

このモードはインフラストラクチャモードのアクセスポイントにクライアントとして接続するイーサネットアダプタとして機能します。



図4-4 EC動作モード

### 通信速度：

本製品の通信速度です。通常はAutomaticに設定しておくことを推奨します。Automaticでは、自動的に最適な速度で送信します。

### RTS しきい値：

本製品がここで指定されたサイズ以上のパケットを送信する場合にRTS (Request To Send) を送信します。同一アクセスポイントに接続するクライアントが多く、クライアントが相互に認識されない状態（隠れ端末）の場合にはこの値を小さくすることで改善されます。通常はデフォルト値：2347を推奨します。

### フラグメントしきい値：

パケットの分割サイズを指定します。ここで指定されたサイズより大きいサイズのパケットは、ここで指定したサイズのパケットに分割されます。電波状態が悪いときや接続クライアントが多い場合には、この値を小さくすることで改善されますが、オーバーヘッドが増えるためにスループットは下がります。通常はデフォルト値：2346を推奨します。

**基本速度：**

本製品の基本速度を設定します。通常は 1, 2, 5.5, 11 Mbps に設定しておくことを推奨します。

**プリアンブルタイプ：**

本製品のプリアンブルタイプを設定します。Long/Shortから選択してください。ShortプリアンブルはLongプリアンブルに比べ高性能ですが、すべてのワイヤレス機器と互換性をもっているわけではありません。Longプリアンブルは普遍的な互換性を持っています。通常はLongに設定しておくことを推奨します。

設定が完了したら、[設定] ボタンを押してください。自動的に再起動します。再起動完了後に設定が反映されます。

## ■フィルタ

画面左側の [フィルタ] ボタンを押すと「MACアドレスフィルタリング」画面が表示されます。MACアドレスフィルタリング機能は、特定のMACアドレスが送信元になっているパケットを破棄する機能です。MACアドレスはネットワーク機器それぞれに与えられている唯一の値です。これにより、アクセスポイントに接続させない機器を個別に指定できるようになります。



### MACアドレスフィルタリングを有効にする:

MACアドレスフィルタリングを使用する場合にはチェックします。

### アドレスの追加:

MACアドレスを登録するには、MACアドレスフィルタリングを有効にし、MACアドレスを入力して [ << 追加 ] ボタンを押します。

### MACアドレスフィルタリング一覧:

フィルタリングリストに登録されているMACアドレスです。ここに登録されている機器からの通信は全てアクセスポイントで破棄されます。登録したMACアドレスを削除する場合には、削除するMACアドレスの [ 削除 ] ボタンをクリックします。

設定が完了したら、[設定] ボタンを押してください。

## ■ ツール

画面左側の [ツール] ボタンをクリックすると「設定の保存」「ファームウェアの更新」「リセット」「統計」が表示されます。本製品のファームウェアのバックアップ、復元、リセット、アップグレードをおこないます。



# 4

## WEBブラウザを使用した本製品のセットアップ

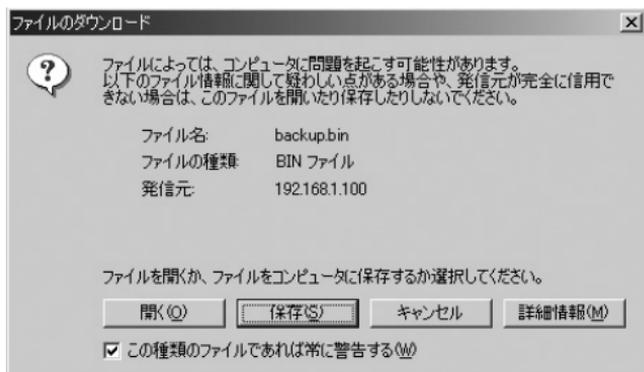
## ●設定の保存

本製品の現在の設定を「backup.bin」ファイルとしてコンピュータに保存します。これにより「設定の書き戻し」を使用して、本製品を保存された設定に戻すことができます。また、「工場出荷時に初期化」をおこなうことで、アクセスポイントを再起動し、工場出荷時の設定状態に戻すことができます。



### 設定の保存：

現在の本製品の設定を保存する場合は [保存] ボタンを押してください。



「ファイルのダウンロード」ダイアログが開きます。内容を確認して問題ない場合は[保存] ボタンを押してください。



本製品の現在の設定を"backup.bin" ファイルとしてPCに保存します。

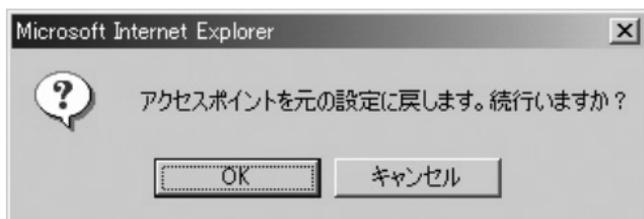


## 設定の書き戻し：

「設定の保存」によって保存した「backup.bin」ファイルを本製品に読み込みます。[参照] ボタンを押すかフルパスを入力して保存した「backup.bin」ファイルを選択してください。



[書き戻し] ボタンを押すと確認ダイアログが表示されます [OK] ボタンを押してください。

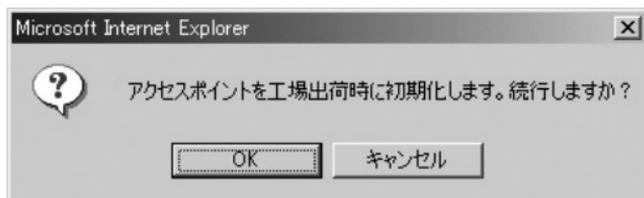


再起動後に設定が反映されます。



#### 工場出荷時に初期化：

すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。工場出荷時の状態に戻す場合は [初期化] ボタンを押してください。確認ダイアログが表示されます。[OK] ボタンを押すと設定が全て工場出荷時の状態に戻ります。



再起動後に設定が反映されます。



## 4

### WEBブラウザを使用した本製品のセットアップ

#### ●ファームウェアの更新

ファームウェアのアップグレードをおこなうことができます。最新のファームウェア情報は <http://www.planex.co.jp> からダウンロードできます。



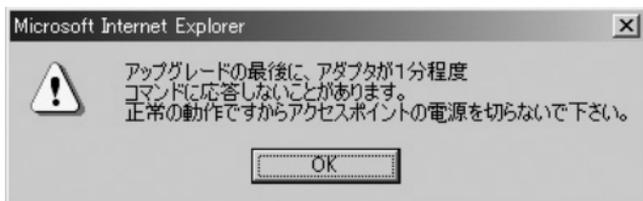
ファームウェアファイルの場所をフルパスで入力するか、または参照ボタンをクリックしてファイルを指定して[開く]ボタンを押してください。



[設定] ボタンを押してください。



確認ダイアログとアップグレード時の注意画面が表示されます。[OK] ボタンを押すとアップグレードをおこないます。



再起動後に設定が反映されます。

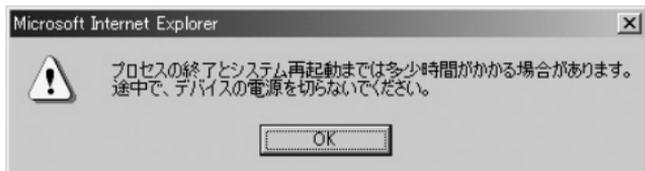
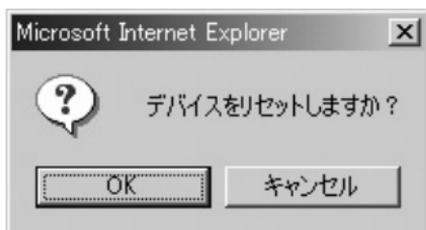


## ●リセット

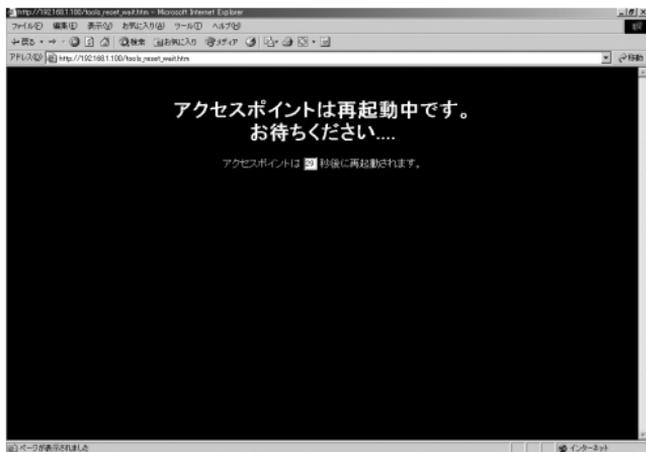
システムが正しく応答しない場合や、機能停止状態になった時に再起動することができます。その際、設定は変更されません。再起動するには[再起動]ボタンをクリックします。



確認ダイアログが表示されます。[OK]ボタンを押してください。



再起動後に設定が反映されます。



## 4

### WEBブラウザを使用した本製品のセットアップ

#### ●ステータス

本製品のファームウェア及びハードウェアのバージョン、ネットワーク状況を表示します。



**現時間：**

ステータス画面を表示した時間を表示します。表示方法は 日/月/年 時間 午前. 午後 となります。

**▼Version Info**

本製品の各バージョンを表示します。

**Firmware:**

本製品のファームウェアバージョンを表示します。

**Boot version:**

本製品のブートバージョンを表示します。

**Hardware:**

本製品のハードウェアバージョンを表示します。

**Serial No:**

本製品のシリアルナンバーを表示します。

**▼LAN情報**

本製品のIPアドレス情報、MACアドレス情報を表示します。

**IP アドレス:**

本製品のIPアドレスを表示します。

**サブネットマスク:**

本製品のサブネットマスクを表示します。

**ゲートウェイ:**

本製品のゲートウェイアドレスを表示します。

**設定:**

本製品のIPアドレスの設定方法を表示します。

## ▼Wireless

本製品の無線設定情報を表示します。

**SSID:**

本製品のESSIDを表示します。

**アクセスポイント名:**

本製品のアクセスポイント名を表示します。

**AP Mode:**

本製品の動作モードを表示します。

**Encryption (WEP) :**

本製品のWEP暗号化の有効、無効を表示します。有効の場合は使用しているWEPの種類を表示します。無効の場合は「Disabled」と表示します。

## ●統計

本製品の無線及びイーサネット接続の接続情報を表示します。現在の情報を表示するには[更新]ボタンを押してください。

無線		イーサネット	
送信	受信	送信	受信
フレーム:	19	フレーム:	0
マルチキャストフレーム:	0	マルチキャストフレーム:	4
フラグメント:	0	フラグメント 重複:	0
エラーフレーム:	0	エラーフレーム:	0
RTS 成功:	0	RTS 失敗:	0
ACK 失敗:	2	FCS エラー:	0
再試行のカウン:	0	複数再試行のカウン:	0
失敗のカウン:	0	WEP 複合化不可:	0
<b>イーサネット</b>			
送信		受信	
オクアット:	159862	オクアット:	26511
パケット:	233	パケット:	199
ブロードキャストパケット:	2	ブロードキャストパケット:	12
マルチキャストパケット:	2	マルチキャストパケット:	13
アンダーサイズエラー:	0	超過送信エラー:	0
オーバーサイズエラー:	0	CRC エラー:	0
衝突エラー:	0		

## ■ログアウト

画面左側の[ログアウト]ボタンを押すと、本製品のWeb設定画面からログアウトします。



### 注意

設定を終了する時は必ずログアウトしてください。



## 設置環境への注意

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信をおこなうには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 (*が多いほど、影響が大きいことを表します。)	具体例
空気	*	—
石材	**	木材の仕切り
石膏	**	仕切り壁
合成素材	**	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	**	天井
ガラス	**	窓ガラス
水	***	湿った木材
煉瓦	***	煉瓦壁
大理石	****	石壁
セメント コンクリート	****	床、壁
防弾ガラス	****	哨舎
鉄	*****	鉄の仕切り 強化コンクリート壁



## 仕様

B

仕様

項目	説明
品名	11Mbps 無線LANアクセスポイント
型番	GW-AP11X
準拠する規格	
無線部	IEEE802.11/802.11b
有線部	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX
伝送速度	
無線部	11/5.5/2/1Mbps 自動接続
有線部	10/100Mbps
ネットワークケーブル	10BASE-T/100BASE-TX カテゴリ3、4、5ツイストペアケーブル (100m)
周波数帯	2.400 ~ 2.497MHz
通信距離	屋内:25~55m、屋外:180~550m (但し環境による)
アンテナタイプ	ダイバシティアンテナ
インターフェイス	RJ-45×1
LEDインディケータ	Wireless、LAN、Power
消費電力	3W
外形寸法	30 (H) × 137 (D) × 108 (W) mm
重量	210g
動作温度	0~40°C
動作湿度	35~80% (結露しないこと)
EMI	CE, FCC class B, VCCI class B



# MEMO



# MEMO



# MEMO

## ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

**<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>**

# 弊社へのお問い合わせ

## ■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉

<http://direct.planex.co.jp/>

## ■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/lan.htm>

## ■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/support/techform.htm>

受付：24時間

〈電話〉

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

\* 祝祭日および弊社規定の休業日を除く

〈FAX〉

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

## ◇お問い合わせ前のお願

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名 (Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

## ■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注) 上記内容は2003年7月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

## 質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

**FAX : 03-5614-1018**

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	11Mbps 無線LAN アクセスポイント
型番 Product No.	<b>GW-AP11X</b>
製造番号 Serial No.	

### ① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

### ② ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン



# 保証規定

プラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

## 初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

## ◎初期不良・修理依頼の手順(センドバック方式)

弊社では、センドバック(先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する)方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。  
プラネックスコミュニケーションズ(株) サポートセンター  
フリーダイヤル・0120-415977 FAX・03-5614-1018  
Web・<http://www.planex.co.jp/support/repair.htm>
2. ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。  
(誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

## 免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

# 保証書

●弊社の保証規定を必ずご覧下さい●

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日 より 1年間
製品名 Product name	11Mbps 無線LAN アクセスポイント
型番 Product No.	<b>GW-AP11X</b>
製造番号 Serial No.	

フリガナ 会社名	
部署名	
フリガナ お名前	
フリガナ ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都道 府県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

